

ひらつか

どっしりと座る主人公・三浦之助と、
彼にすがろうと近づくと、敵方の大将の
娘・時姫。人形浄瑠璃の『鎌倉三代記
三浦別れの段』という演目的一幕だ。
人形を人のように操るのは、具指定文
化財になっている、相模人形芝居前鳥座
の人形遣いたちだ。7月19日、四之宮公
民館(東真土2-1-48)の会議室で、本
年度の演目の稽古に励んでいた。



遣いを継承す

目次

1～3面…**特集** 人形遣いが紡ぐ伝統…市内で継承されている2操法
の人形浄瑠璃。伝統を後世につなごうと取り組む各団体の
現状や、その技術が見られる舞台などを紹介します。

4～7面…募集・お知らせ・健康と福祉

8面…「ひらつかTopics」「市長コラム」
広報ひらつかのPDF版は市ウェブからご覧いただけます。アプリ
「マチイロ」や「Catalog Pocket(10言語対応)」からも最新版がご覧
いただけます。



人形遣いが紡ぐ伝統

人形浄瑠璃(人形芝居)・囃子太鼓・祭事など、平塚市には多様な無形民俗文化財が残る。形のない民俗芸能・技術が時代を超え、現代に受け継がれている。その中で、県の同文化財に指定されているのが「相模人形芝居前鳥座」だ。

相模人形芝居は江戸時代に相模国に伝わったといわれ、15力所の伝承地が確認されている。現在、伝統を継承するのは、平塚市の前鳥座、厚木市の林座・長谷座、小田原市

の下中座、南足柄市の足柄座の4市5座だけとなった。

5座の総合調査

5座はいずれも国や県の無形民俗文化財に指定されている。各座、相模人形芝居の普及・啓発に尽力しているが、担い手の高齢化など、継承者不足に直面している。

そこで本年度、4市で協定を締結し、伝統を一体的に後世に継承するための調査が始まった。5座との関係が深い

三味線の音楽と義太夫節の語りに乗せ、人形を遣って物語を表現する人形浄瑠璃。平塚市には江戸時代からの伝統芸能に親しみ、物語を紡ぎ続ける人たちがいる。



社会教育課 ☎ 35 | 8 1 2 4

二つの系譜が共存

江戸時代に始まった人形浄瑠璃。長い歴史の中で、系譜の違う人形の操法が生まれ、

伝わってきた。操法には調査が始まった前鳥座の「三人遣い(3面上段右)」と、高浜高校文楽部や湘南座の「一人遣い(下囲み)」がある。いずれも物語を語る太夫・三味線・人形遣いの「3業」で成り立つ。平塚市のように、系譜の異なる人形芝居が共存する地域は全国的にも珍しい。各団体が技術と想いを、次世代につなぐ努力を続けている。

昔と変わらぬ姿を守る

総合調査が始まった5座の相模人形芝居。前鳥座では6月の稽古に1回目の調査が入った。専門家が訪れ、歴史ある人形芝居が四之宮の地でどのように継承されているか、稽古の風景や道具類などを記録していった。



昔の写真や資料を見て笑い合う大学生座員の相原さん(左)と座長の鈴木さん

人形芝居のような無形文化財は、人から人へ伝えていくため時代と共に変化していきます。だからこそ、記録や映像をとり、調査記録(報告書)を残すことが必要です。総合調査する5座のうち3座は国指定重要無形民俗文化財で、2座は県指定。しかし、調査では国・県指定に関係なく、歴史的な経緯や現在の活動状況を一様に明らかにし、記録していきます。5座の皆さんには調査の成果報告書を、本来の形を確認し回帰するためのよりどころとして役立ててほしいと思います。前鳥座の皆さんには、祭礼での奉納上演の伝統や歴史を大切にしながら、一方でこれまで以上に女性・若者、地域以外の人にも加わってもらい、楽しく盛んに活動していただきたいです。

情報・資料の提供にご協力ください

昔の前鳥座の話を伺える方や、相模人形や道具類・義太夫節の床本をお持ちの方は、市社会教育課まで。ぜひ情報をお寄せください。

昭和女子大学歴史文化学科 教授 大谷津早苗さん

伝統を記録する

「前鳥座で継承されてきた相模人形芝居の伝統を守るた

めに、昔と姿を変えないようにしています。稽古や舞台のたびに自分たちで映像・写真に記録して、確認しています」と話す、前鳥座の座長、鈴木文雄さん。「全てを覚えていくのは難しいです。長く使っていない道具類の用途など、調べて初めて分かることもありま

高浜高校文楽部 × 湘南座

人形と一心同体で

市内で一人遣いの人形浄瑠璃を継承するのは2団体。高浜高校(高浜台8-1)の文楽部と、その卒業生が多く所属する湘南座だ。高浜高校文楽部は昭和47年に始まり、休部期間も乗り越えながら、今も続いている。現在は湘南座の指導の下、週1回の稽古に励み、民俗芸能まつり(3面左下囲み)や公民館まつり、学校の行事などで舞台を披露している。

部活で初めて触れた伝統芸能

2年生の山崎穂果さん(写真②右)は、「元々、日本文化に触れることに興味がありました。入学した頃の部活紹介で初めて見た人形浄瑠璃を『すごい!』と思い入部しました」と話す。現在の部員は3年生1人・2年生2人で、新入部員の勧誘には苦勞しているそう。ただこの状況は2年生が入部した当時からだ。同じく2年生の齋藤流希さん(写真③左)は「このままだと休部だと聞いて、伝統芸能に触れられる珍しい部活がなくなったらもったいないと思いました」と振り返る。「人形を操るのは初めてで難しかったけれど、ここでしかできない貴重な経験ができて、入って良かったと感じています」と続ける。

先輩から受け継ぐ技術と思い

「2人とも本当に熱心に取り組んでいます」と話す、湘南座の城田雅江さん(写真①右)。基本の技術が身に付いてきた2人には、人形と連動する動きをより美しく見せるための指導を中心に行っているそう。「私自身、学生時代に文楽部での経験があったので、現在も細く長く続けられています。卒業後もこうして文楽部で一人遣いを継承してくれている後輩がいるのはうれしいことですし、湘南座としても心強いです」と続けた。

一人遣い



1人で1体の人形を操る操法。人形と人形遣いの顔を耳紐で結び、人形の足と胴を足木(左)や胴金(右)などで人形遣いの体に密着させて操る。



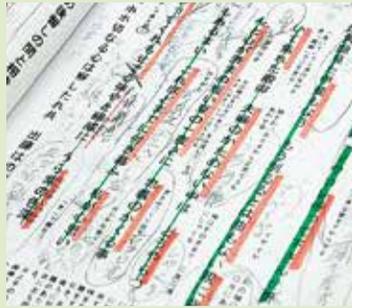
①指導をする湘南座の城田さん②録音と生の音に合わせて稽古③三味線と語りの録音に合わせて繰り返す稽古。2人の動きがそろった場面が見どころ



前鳥座・令和7年度の演目

『鎌倉三代記 三浦別れの段』

おおさか
大坂夏の陣の豊臣家滅亡を、鎌倉時代に置き換えた作品。主人公・三浦之助が、母・長門の病を案じ、負傷しながらも戦場から帰館する。そこで迎えたのは敵方の娘・時姫。美しい振り袖姿の姫で長門の看病をしていた。時姫は三浦之助にすがりつくが、「敵方の娘は信用できない」と受け入れてもらえない。そんな2人の駆け引きと切ない恋を描いた物語。三浦之助を慕い時姫が嘆く場面は、悲劇的で胸を打たれる。



鈴木座長の床本

三人遣い

3人で1体の人形を操る操法。人形の首と呼ばれる頭部かしらと右手を操る主遣いおもつか、差し金と言われる長い棒で左手を操る左遣い、人形の両足にある足金などを操る足遣いに分かれる。享保19(1734)年に、人形をより人間の動きに近づけるために考えられたとされる。



- ④ 真剣に取り組む中で、ふっと笑みがこぼれた座員たち。座の和やかな雰囲気が見られた場面
- ⑤ 戦場から傷を負って歩く主人公の動きを実演
- ⑥ 手首だけで人形の視線を自然に動かす練習

抱える前鳥座だが、若い世代も主力として活躍している。その1人が座で唯一の10代、相原結愛さんだ。小学校4年生の時に3歳上の友人に誘われ、「面白そう！」と人形芝居

「好き」が積み重なって

の世界に入った相原さん。「『一時的な熱中』ではなく、皆さんの雰囲気とか、芝居の楽しさとか、いろいろな『好き』が積み重なったから、ずっと続けられたのだと思います」と話す。肩肘を張らず、趣味として地域の伝統に触れてきたことが伝わってくる。ただ今年、少し心境の変化があったそう。「初めて配役の希望を出しました。大学生になって前より時間ができたので、本腰を入れて取り組みたいと思ったんです」と説明する。相原さんが担当するのはヒロインである「時姫」の足遣い。初めて主役級に挑戦する相原さんの思いに、鈴木さんは笑顔でうなずいていた。

「像の重要さを語る。『会場や運搬などの都合で、演出などを変えなければいけない場面もあります。昔からの姿』を確認し、伝えていきます」。再び演りたい物語

前鳥座には22人の座員がいるが、活動しているのは現状15人。高齢の座員は常に参加するのが難しくなってしまう。人形を6体使う演目は、ギリギリの人数で回しています。もし当日1人でも欠けたらできなくなってしまうので大変です」と鈴木さん。舞台や他の団体に迷惑がかかるので、ここ数年は人形の多い演目を選びにくいそう。「あと3人いたら、できる演目も増えるんですけど……。しばらくできていない代表的な物語

若手が主体の配役

その中で鈴木さんが本年度の演目を選んだのは『鎌倉三代記 三浦別れの段』(上囲み)。2・3年目の若手座員が主体の配役にした。「演目の経験者を含め、配役を一新しま



人形4体が並んだ昨年度の演目『絵本太功記 尼ヶ崎の段』

専門家からの指導

7月19日の稽古。四之宮公民館には座員の他に、講師の熱心な指導の音が響いていた。声の主は人形浄瑠璃指導員の林美禰子さん(左上写真⑤左)。下中座の元座長で前鳥座とも付き合いが長い。前鳥座では市の支援を活用し、近年、林さんに指導を依頼している。初めて主役級を任されている若手座員らは、人形の操り方・体の使い方などを、真剣な表情で教わっていた。

また演りたいですな」と少し寂しげに語る。

した。これからの若手座員には経験を積んで、力を付けてもらいたいですから」とこり。「主人公は主遣いと左遣いが若手座員です。足遣いのベテラン座員がしっかり支えてくれます」と続ける。

ひらつか民俗芸能まつり

11/16(日) 午後1時～4時ごろ(0時30分開場) 中央公民館(追分1-20)



古くから受け継がれてきた市内の郷土芸能を楽しみませんか。前鳥座・湘南座・高浜高校の人形浄瑠璃の他、囃子太鼓や甚句の舞台が見られます。

各団体の出演時間など、詳しくは10月中旬に市ウェブなどで公開します。
☎ 社会教育課 ☎ 35-8124

9/27(土)・28(日) 江戸時代から続く奉納演芸

前鳥神社例大祭で前鳥座の舞台を楽しみませんか。27日の宵宮では午後7時からの「麦振舞神事」(市指定重要文化財)の後、前鳥座の公演があります。演目は『鎌倉三代記 三浦別れの段』(約30分)です。28日の本宮の演目は『三番叟』(約5分)です。前鳥座の舞台は27日は午後8時ごろ、28日は6時ごろ。前鳥神社(四之宮4-14-26)。

稽古の見学や学校での体験学習

前鳥座の稽古を見学できます。稽古は四之宮公民館で月2・3回。見学希望の方は開催日をお問い合わせください。また、前鳥座では市内の小・中学校、高校での体験学習や公演も積極的にしています。

7月の稽古では公民館に訪れていた小学生の「見たい!」という声に、鈴木さんが快く応えていました(右写真)。子どもたちは学校でも触れたことがあると笑顔で話していました。伝統芸能を扱う歴史ある団体ですが、入り口は開かれています。インターネットで調べたり、舞台の鑑賞や稽古の見学をしたり、気軽に伝統芸能の世界に触れてみませんか。



☎ 相模人形芝居前鳥座の鈴木 ☎ 090-2900-4886

応募方法

- 応募のある記事は事前に応募が必要です
- 必要事項は郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号です
- メールの場合、@以下に、city.hiratsuka.kanagawa.jpを付けてください
- eは、電子申請システム(イ-カナガワ(e-kanagawa))。右の2次元コードからもアクセスできます
- 市役所への郵便物は、〒254-8686平塚市役所〇〇課で届きます
- 市役所の開庁時間は、午前8時30分～午後5時です



募集

応募方法は右側

イシックス馬入のお花畑写真コンテスト

イシックス馬入のお花畑(中堂24-1)で撮影して、イシックスプログラムに投稿しませんか。最優秀作品賞には、賞金1万円とエコバッグを、優秀作品賞にはエコバッグを贈ります。

【応募】 11月30日(日)までに、インスタグラムで、イシックス馬入のお花畑公式アカウント@six.hanabatakeを

フォローし、ハッシュタグ「#イシックス2025秋」を付けて1枚投稿してください。問い合わせはみどり公園・水辺課 ☎21-9852へ。

昆虫観察会

ひらつか生物多様性推進協会の昆虫班が解説します。

【応募】 10月13日(祝)午前9時30分～11時30分。雨天中止。里山体験フィールド(土屋107体験フィールド)土屋107(付近)。市内在住の方20人

谷戸田で脱穀体験

千歯抜きや足踏み式脱穀機の体験ができます。

【応募】 10月11日(土)午前10時～午後1時。雨天決行。里山体験フィールド(土屋1076付近)。市内在住の方20人(抽選)。雨具・帽子・軍手・タオル・飲み物・着替え。作業のできる服装でお越しください。

【応募】 9月29日(月)までに、代表者の必要事項・イベント名・全員の氏名(ふりがな)と年齢を、はがき・ファクス・メールで、環境保全課 ☎23-

(抽選)。帽子・虫よけ剤。汚れてもよい動きやすい服装でお越しください。
【応募】 9月29日(月)までに、代表者の必要事項・イベント名・人数・全員の住所と氏名と年齢を、ファクス・メールで、環境保全課 ☎23-9969 ☎21-9603 k-hozen-event@k.

秋の特設相談会

午後1時～4時。①は事前予約が必要。②③は本館1階多目的スペースで、午後3時30分まで受け付けます。市内在住・在勤・在学の方。
①公証人 10月1日(水)。遺言・相続・金銭消費貸借・任意後見など。本館5階相談室。6人(先着順)。
②行政相談委員 10月6日(月)。国の事業などに対する意見や要望。
③行政書士 10月7日(火)。相続・契約・成年後見・在留資格・許認可申請など。

【応募】 ①は9月22日(月)から、電話または直接、本館5階の市民情報・相談課 ☎21-8764へ。

就活応援 保護者相談

10月7日・21日の火曜日、午前10時～11時・午後1時～2時・3時(各時間帯50分)。

【応募】 電話で、県西部地域若者サポートステーション ☎0465-32-4115へ。

小学生の図書館スタッフ体験

1・2年生は11月16日、3・4年生は23日、5・6年生は30日の日曜日、各日午前9時30分～11時30分、午後は1時30分～3時30分。中央図書館。各時間帯4人(抽選)。一日図書館員などに参加していない方を優先。筆記用具。

秋のばらフェスタ

ばらの色や香りを楽しみませんか。ばらの写真や絵の展示、カフェもあります。展示する写真や絵の募集・展示期間、カフェの日時など、詳しくは市ウェブをご覧ください。

10月25日(土)・26日(日)。旧横浜ゴム平塚製造所記念館。先着順。

五東由衣コンサート 元劇団四季俳優がピアノに合わせてミュージカルと歌を披露します。25日午後2時開演。60人。3,500円。

ハーブと野菜の寄せ植え教室 26日午前10時～正午。15人。1,200円。

【応募】 9月20日(土)午前9時から、必要事項・イベント名を、往復はがき・ファクス・メールまたは直接、〒254-0041浅間町1-1旧横浜ゴム平塚製造所記念館 ☎35-7114 yokan7114@outlook.jpへ。



飲み物。汚れてもよい服装でお越しください。
【応募】 9月20日(土)午前9時～10月13日(祝)午後5時に、市図書館ウェブにある応募用紙を、郵送・本人または保護者が直接、〒254-0041浅間町12-41中央図書館 ☎31-0415へ。

木造住宅の耐震相談会

昭和56年5月31日以前の旧耐震基準で建てられた木造住宅の耐震化を、建築士に相談できます。市の補助制度なども説明します。

【応募】 令和7年10月21日(火)午後1時30分～2時30分・3時30分(各一回1時間)。本館3階302会議室。市内木造住宅の所有者または居住者、各回5組(先着順)。

【応募】 電話で、建築指導課 ☎20-8860へ。

平塚まちゼミ

専門店ならではの知識などを学べます。
10月1日(水)～11月9日

(日)。平塚駅前中心商店街の各店舗。講座内容や会場など、詳しくは平塚まちゼミウェブをご覧ください。

【応募】 9月20日(土)～24日(水)に、電話などで、各店舗へ。問い合わせは、平塚商工会議所 ☎22-2512へ。

女性囲碁入門教室

11月26日(金)～令和8年2月4日の水曜日、全8回、午前9時30分～11時30分。まちづくり財団(見附町31-10)。5回以上参加でき、囲碁を初めて学ぶ女性20人(先着順)。筆記用具。5000円。

【応募】 令和7年9月20日(土)午前10時から、電話で、まちづくり財団文化事業課 ☎32-2237へ。同財団ウェブでも応募できます。

馬入水辺の楽校お魚調べ

10月5日(日)午前9時～正午。雨天中止。相模川河川敷の馬入水辺の楽校風車前に集合。小学生以上の方20人(抽選・小学生は保護者同伴)。帽

子・タオル・着替え・ウオーターシューズ・飲み物・軍手。2000円・中学生以下1000円。
【応募】 9月20日(土)午前9時～26日(金)午後5時に、代表者の必要事項・全員の氏名と年齢を、メールで、湘南いきもの楽校の露木 ☎77-0029 5 masami2025@yahoo.co.jpへ。

青少年のための「コミュニケーション講座

伝え方上手・返し方上手になる方法を学びます。
10月23日(木)午後2時～4時。青少年会館(浅間町12-41)。県内在住・在勤・在学中、県や市などが開く外出のきっかけとなる居場所に参加している方20人(抽選)。筆記用具・飲み物。

【応募】 10月10日(金)午後5時までに、県の電子申請システム(e-kanagawa)で応募してください。問い合わせは、県立青少年センター ☎045-263-4479へ。

市職員として働きませんか

一般事務職員・学芸員

採用予定は令和8年4月1日。一般事務(障がい者対象)数人・学芸員(考古学)1人(選考)。選考方法や要件など、詳しくは市ウェブをご覧ください。

【応募】 令和7年9月26日(金)午後5時までに、eで応募してください。応募後に受験票が発行されたら、10月1日(水)～8日(水)に、市ウェブにある自己アピールシートに写真を貼り、郵送または直接、本館4階の職員課 ☎21-8762へ。

任期付き職員

採用予定は令和8年1月1日以降。一般事務5人・一般事務(障がい者対象)数人(選考)。選考方法や要件など、詳しくは市ウェブをご覧ください。

【応募】 令和7年10月1日(水)午前9時～15日(水)午後5時に、市ウェブにある応募用紙を、郵送または直接、本館4階の職員課 ☎21-8762へ。

市民病院職員

採用予定は令和8年4月1日以降。理学療法士1人・言語聴覚士1人(選考)。要件など、詳しくは市民病院ウェブをご覧ください。

【応募】 令和7年9月26日(金)午後5時までに、市民病院ウェブにある応募用紙を、郵送または直接、〒254-0065南原1-19-1病院総務課 ☎32-0015へ。

就活応援 保護者相談

10月7日・21日の火曜日、午前10時～11時・午後1時～2時・3時(各時間帯50分)。

小学生の図書館スタッフ体験

1・2年生は11月16日、3・4年生は23日、5・6年生は30日の日曜日、各日午前9時30分～11時30分、午後は1時30分～3時30分。中央図書館。各時間帯4人(抽選)。一日図書館員などに参加していない方を優先。筆記用具。